

20

○や△を使った式①

→13へ

年 組 番 名前

1個20円のあめがあります。あめの個数と代金の関係を調べていきます。

例題1 あめが1個ずつ増えていくと、代金はどれだけずつ増えていきますか。

あめ (個)	1	2	3	4	5	
代金 (円)	80	160	240	320	400	

$\xrightarrow{80}$ $\xrightarrow{80}$ $\xrightarrow{80}$ $\xrightarrow{80}$

答え 80円ずつ増える

例題2 あめの個数を○、代金を△として、○と△の関係を式で表しましょう。

答え $\Delta = 80 \times \bigcirc$

例題3 あめの個数が2倍、3倍、…になるとき、代金はどうなりますか。

あめ (個)	1	2	3	4	5	
代金 (円)	80	160	240	320	400	

$\xrightarrow{2倍}$ $\xrightarrow{3倍}$
 $\xrightarrow{\square倍}$ $\xrightarrow{\square倍}$

「あめの個数と代金は比例している」

答え 2倍、3倍、…になる

練習1 1枚50円の切手があります。切手の枚数と代金の関係を調べていきます。

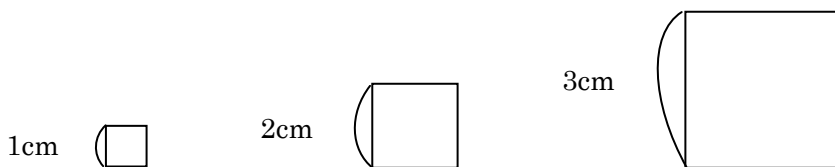
切手 (枚)	1	2	3	4	5	
代金 (円)	50	100	150	200	250	

① 表を完成させましょう。

② 切手の枚数を○、代金を△として、○と△の関係を式で表しましょう。

$$\Delta = \boxed{50 \times \bigcirc}$$

練習2 正方形の1辺の長さともわりの長さの関係を調べていきます。



1辺の長さ (cm)	1	2	3	4	5	
まわりの長さ (cm)	4	8	12	16	20	

① 表を完成させましょう。

② 1辺の長さを○、まわりの長さを△として、○と△の関係を式で表しましょう。

$$\Delta = \boxed{\bigcirc \times 4}$$